

津市立ハッ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 1. 10 N054

新しい決意で出発！



先日、“今年はおせち料理のメニューでローストビーフ”が人気“とある番組で取り上げていました。年末年始によく聞く言葉に“大掃除”“年越しそば”“おせち料理”“お年玉”“鏡びらき”“七草かゆ”…などがあります。その1つ1つに新しい年を迎えるための庶民の願いや思いが込められています。担任時代には2学期末にそれらの言葉について子どもたちに話してきました。“ローストビーフ”という言葉に時代の流れを感じましたが、「なぜ、大掃除をするの

か」「なぜおせち料理を食べるのか」「お年玉とは何か」など、それぞれの意味について伝えていく必要があると思います。

さて、新年がスタートしました。学校は明治以来、会計年度制度のため、4月が実際は1年のスタートとなります。しかし、子どもたちは新しい学期のスタートに向けて「3学期は〇〇に挑戦する」「〇〇を上手にできるようにする」と決意をして出発しました。1年生は2年生、2年生は3年生…というように4月からは1つ学年があがります。3学期のうちに今年度のまとめをするとともに、新学年に向けてしっかりと助走をしていくことが大切です。特に6年生は中学校に向けての準備をしながら、勢いをつけ、大きく羽ばたいてほしいと思います。保護者の皆様、学校運営協議会をはじめとする地域の皆様、3学期も、そして令和5年度もハッ山小学校の学校運営にご理解・ご協力を賜りますよう、宜しく申し上げます。（上の飾りは八対野教育文化会館 村川玲子さん・岩野有佳さんからいただき、職員玄関に飾らせていただいています。）

「なぎさホテル」～帰ることができる場所

最近、今年デビュー35周年を迎えた歌手の桑田佳祐さんが出した新曲「なぎさホテル」が作家 伊集院静さんの自叙伝と同じタイトルであるということで話題になりました。伊集院さんはこのホテルで7年間すごし、作家を志したホテルだそうで、桑田さんの素晴らしい楽曲に感謝を述べたそうです。子どもにとって心的な帰る場所は間違いなく家庭です。家庭が“安心感の基地”としてこれからも子どもたちがほっとできる場として羽を休め、次の日も元気に登校できますよう、見守っていただけますようお願いいたします。